

ユーザーマニュアル

C-シリーズ ウェイフオーク

記: ウェイフオークは出荷前にキャリブレートされており直ぐに使用可能な状態になっております。

NTEP モデルもキャリブレートされており直ぐに使用可能ですが現地での計測と計測機関による追加の認証が必要になることがあります。

重要: フォークとディスプレイはペアリングされておりセットでキャリブレートされていますので別々にしないでください。ご質問があればカスケードのサービス部門にお問い合わせください。

注意: ウェイシステムは精密機器ですので取扱いにはご注意ください。環境や用途によってシステムや構成部品に影響を与える可能性があります。泥やほこり、水、腐食性化学薬品、摩耗性物質はウェイシステムの性能に悪影響を与える可能性がありますのでご注意ください。

Original Instructions

Number 8305557 JA



**cascade
corporation**

Cascade is a Registered Trademark of Cascade Corporation

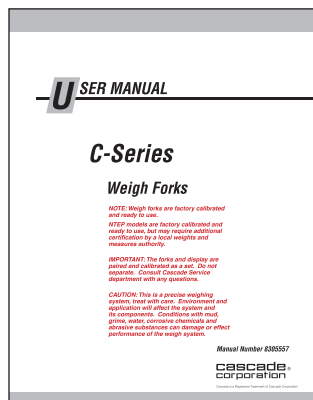
CONTENTS

	Page
全般	1
警告と安全な計量	2
装着	3
ディスプレイの使用	7
機能	7
ディスプレイメッセージ	8
ウェイトシステムの使用	9
計量の前に	9
荷物のハンドリング	9
荷物を測定する (ノーマル計量モード)	10
重量計測 ネット/風袋/グロスウェイト	11
フォークの電源オフ	13
オートシャットオフ	13
高度な測定操作	14
トータリング (累計)	14
ピースカウント (サンプリング方法)	16
バッテリー	17
フォーク LED 状態表示	17
フォークバッテリーパックの充電	18
ディスプレイバッテリー (装着されている場合)	19
プリンター装備	20
重量を印刷	20
定期的なメンテナンス	21
補足	23
高度な計測オプションの有効化/変更/無効化	23

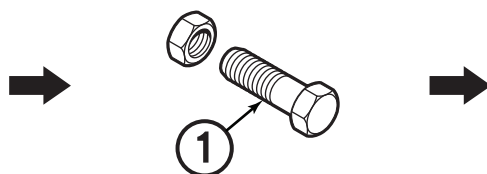
本書ではウェイシステムの装着と使用方法にご説明いたします。装着と操作する前に本書を通して熟読いただきすべての装着方法、操作方法、安全な操作をご理解ください。装着と操作については本書に記載されている順番で行ってください。

本書は安全で乾燥した場所で保管ください。破損、紛失等の場合はカスケードに再送付をご依頼ください。

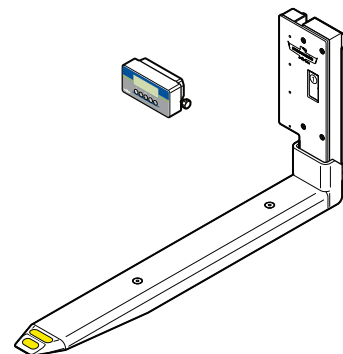
記: トラブルシューティングに関しては C-シリーズ ウェイフォークのサービスマニュアルをご参照ください。



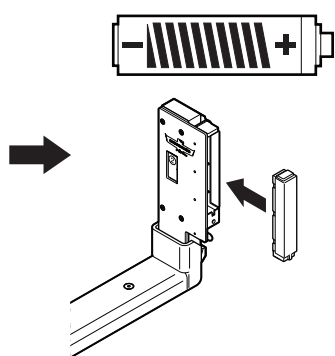
本書を熟読する



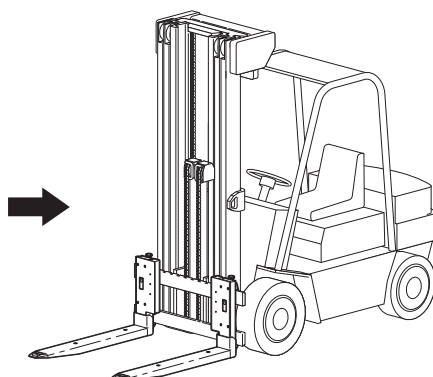
構成部品を確認



フォークリフトに取付け



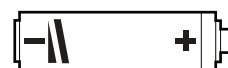
バッテリーパックの装着



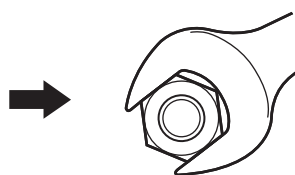
システムを使う

記: ウェイフォークは出荷前にキャリブレーションされており直ぐに使用可能の状態となっております。

NTEP モデルもキャリブレーションされており直ぐに使用可能ですが現地での計測と計測機関による追加の認証が必要になることがあります。



バッテリーパックの充電と交換



定期的なメンテナンスの実施

FK0585.ai

警告と安全な計量

ウェイシステムを使用する際は本書に記載しております内容とガイドラインを注意してお読みいただき、本書に記載された順序にてリフトに装着してください。方法にご不明な点がある場合はカスケードにご相談ください。

重要: お客様による改造等は著しい性能や機能低下を招き保証対象外となります。改造等が必要な場合はカスケードにご相談ください。

ウェイフォークに乗らない



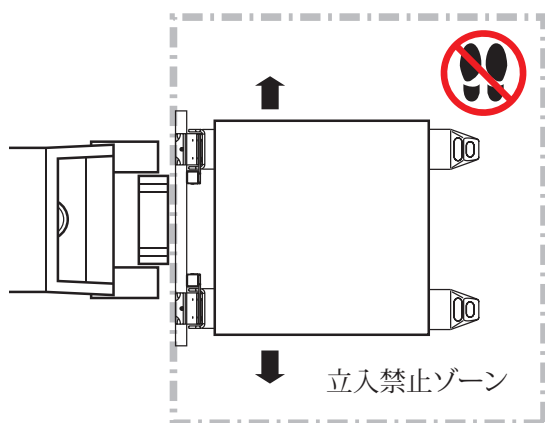
マストから手を出さない



荷物の下に入らない



FK0540.eps



ディスプレイはIP 65に準拠

注意: インジケータは湿度の高い環境で長時間使用しないこと。

重要: カスケードはディスプレイをリフトに設置することにより発生する可能性のある作業
者への身体的な影響についてはその責を負
いません。



警告: 熟練されていない方やフォークリフトの運転資格のない方はウェイフォークを操作しないでください。

重要: ウェイフォークのNTEPセキュリティワイヤーを熱したり取外したり、またはラベルを剥がしたりするとNTEP認定が無効になります。

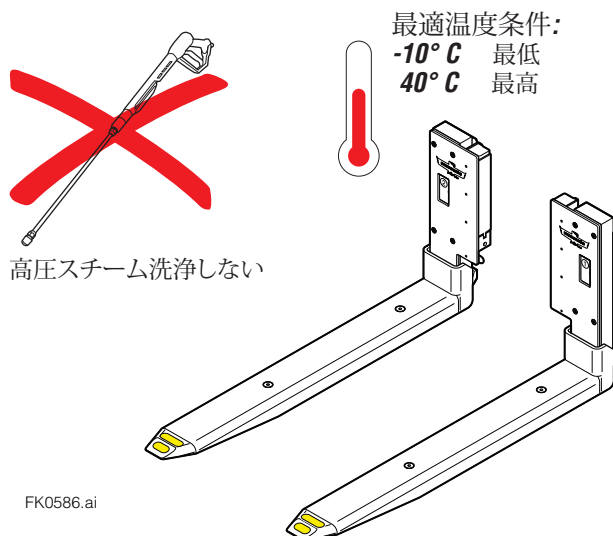
重要: 間違った計量方法や許容範囲外の使用による不具合は保証対象外になります。作業員への教育、日常点検を確実に実施するようにしてください。

重要: 一般的にフォークリフトへ要求される安全規格関係へはすべて準拠するものとしこれに準じて、操作、メンテナンス、補修を実施してください。

重要: ディスプレイまたはフォークが低バッテリーを表示した場合、計量公差とディスプレイへの通信に影響が出ます。

注意: 高い湿度や液体を扱う作業はフォークに損傷を与えることがあり、また、泥やほこり、水、腐食性化学薬品、摩耗性物質はフォークの性能に悪影響を与える可能性があります。状況により錆や腐食に対して前処理を施してください。

注意: 使用環境や使用条件がフォークやその計量性能へ影響する場合があります。フォークがその状況に適しているかご確認ください。



FK0586.ai

注意: 静電気放電ストラップをリフトのシャーシに取付け、静電気によるウェアシステムへのダメージを防止します。

1 フォークの装着

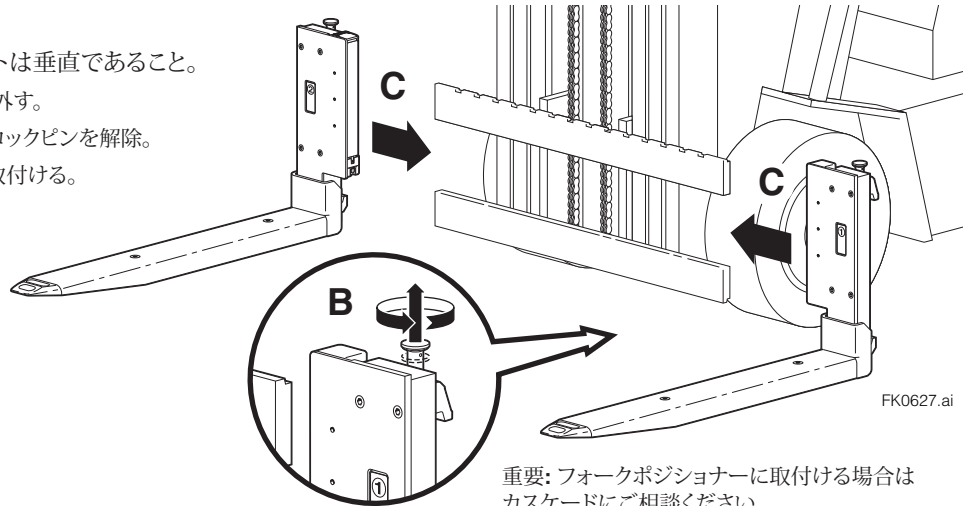
標準フォーク

重要: リフトのマストは垂直であること。

A 既存フォークを取外す。

B ウェイフォークのロックピンを解除。

C ウェイフォークを取付ける。



FK0627.ai

重要: フォークポジショナーに取付ける場合はカスケードにご相談ください。

ローテーター用フォーク (ミドルフック付)

フォークが取り扱う荷物の重さに準じているか確認する。



警告: 指を挟んだり足の上に落とさないよう注意してフォークを扱う。



警告: フォークには3つのフックがあります。ローテーター用フォークにはミドルフックが装着されて出荷されています。

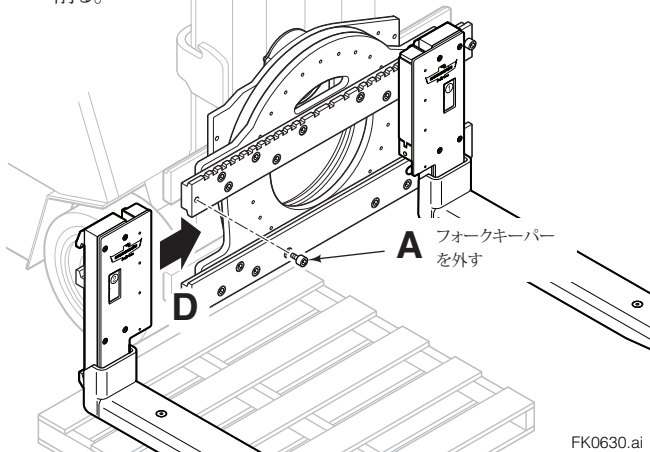
A キャリッジを水平位置に回転させる。アッパーフォークキャリッジバーからフォークキーパーを外す。

B 既存のローテーター用フォークを外す。(もし付いている場合)

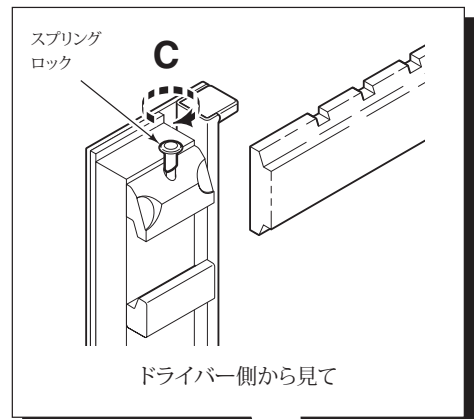
C フォーク上部のスプリングロックを解除する。

D フォークをフォークキャリッジバーの取付け位置へスライドさせる。

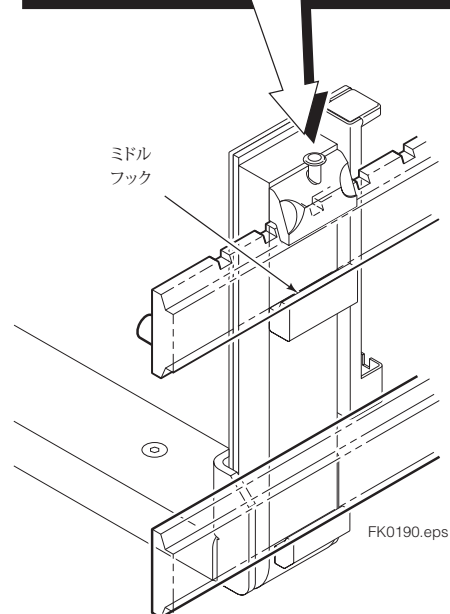
記: ミドルフックが上部に対してきつい場合はフックの先端部を削る。



FK0630.ai



ドライバー側から見て

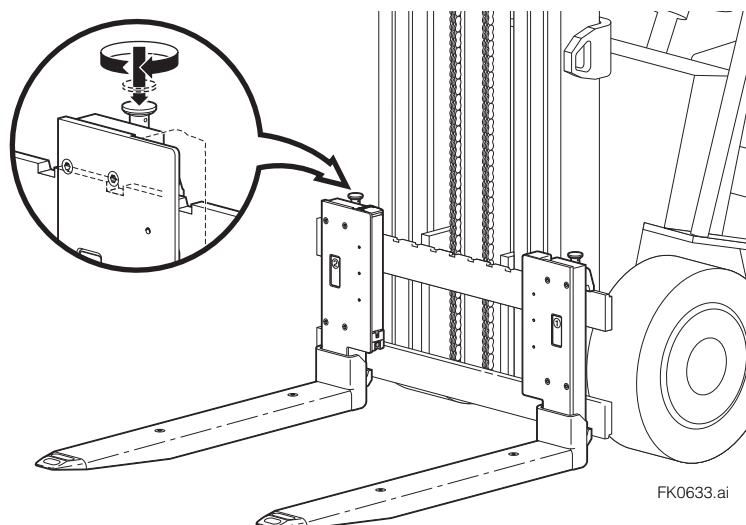


FK0190.eps

2 フォークの固定

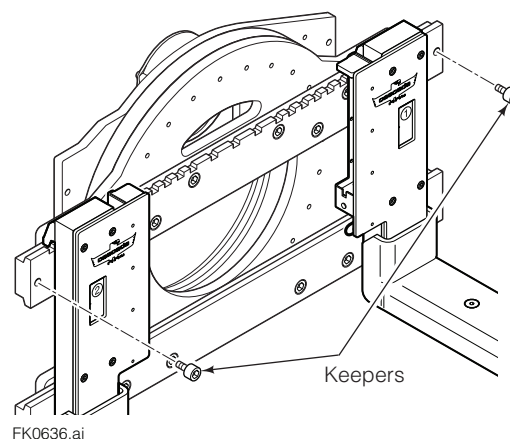
記: フォークをローテーターに装着する場合はピンがフォークバーのノッチに確実にかかっているか揺らして確認する。

注意: ピンはノッチにかみ合っていること。



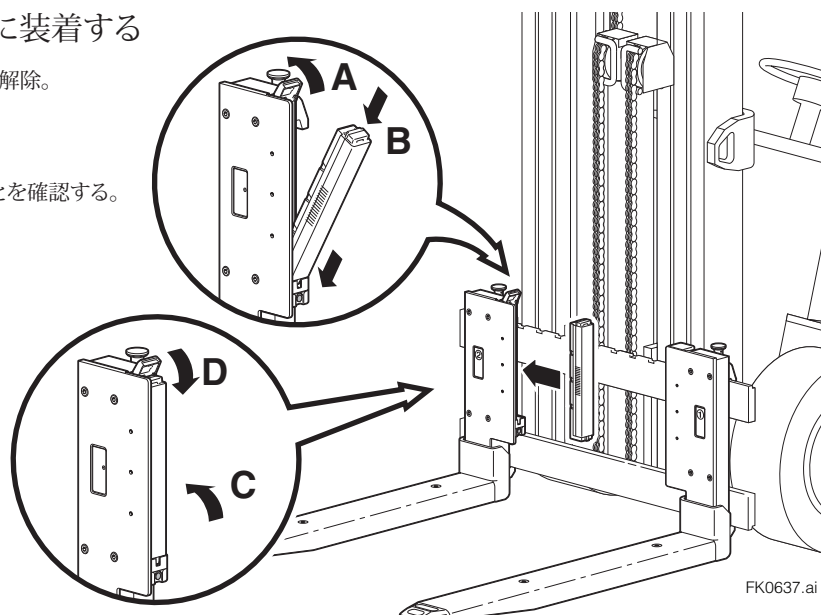
3 もし付属の場合、フォークバーキーパーを再装着する。

トルク値についてはローテーターアタッチメントの装着マニュアルを参照する。



4 バッテリーパックをフォークに装着する

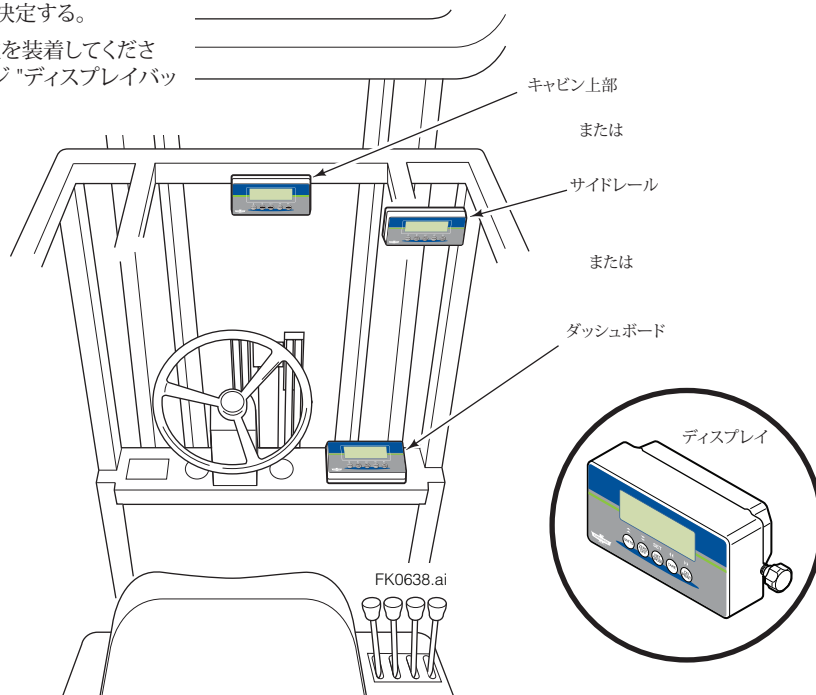
- A バッテリーホルダーのロッククリップを解除。
- B バッテリーパックを挿入。
- C バッテリーをホルダーに装着。
- D ロッククリップがしっかり下りていることを確認する。



5 ディスプレイを設置する

操作、視界性に合わせて設置場所を決定する。

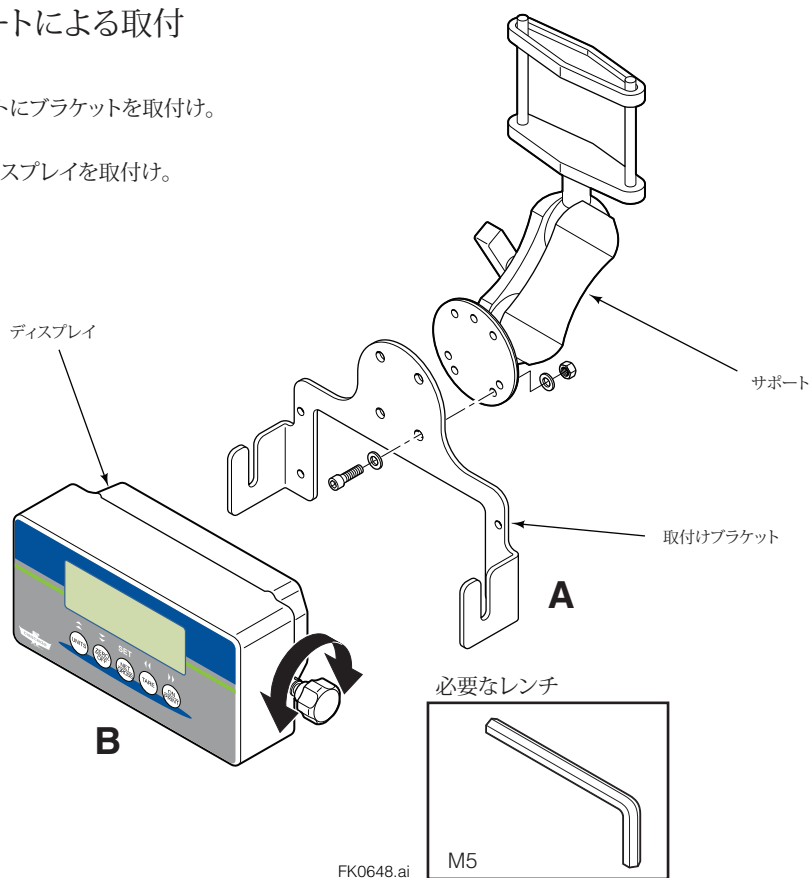
記: 必要に応じてディスプレイに電池を装着してください。バッテリーセクションの 19ページ "ディスプレイバッテリーの交換"を参照。



6 取付けブラケット、サポートによる取付け(必要時)

A M5の六角レンチを使ってサポートにブラケットを取付け。

B 取付けブラケット、サポートにディスプレイを取付け。



7 フォークリフトからの電源(オプション)

A マイナス端子バッテリーターミナルまたはフォークリフト本体から直接のケーブルを外す。

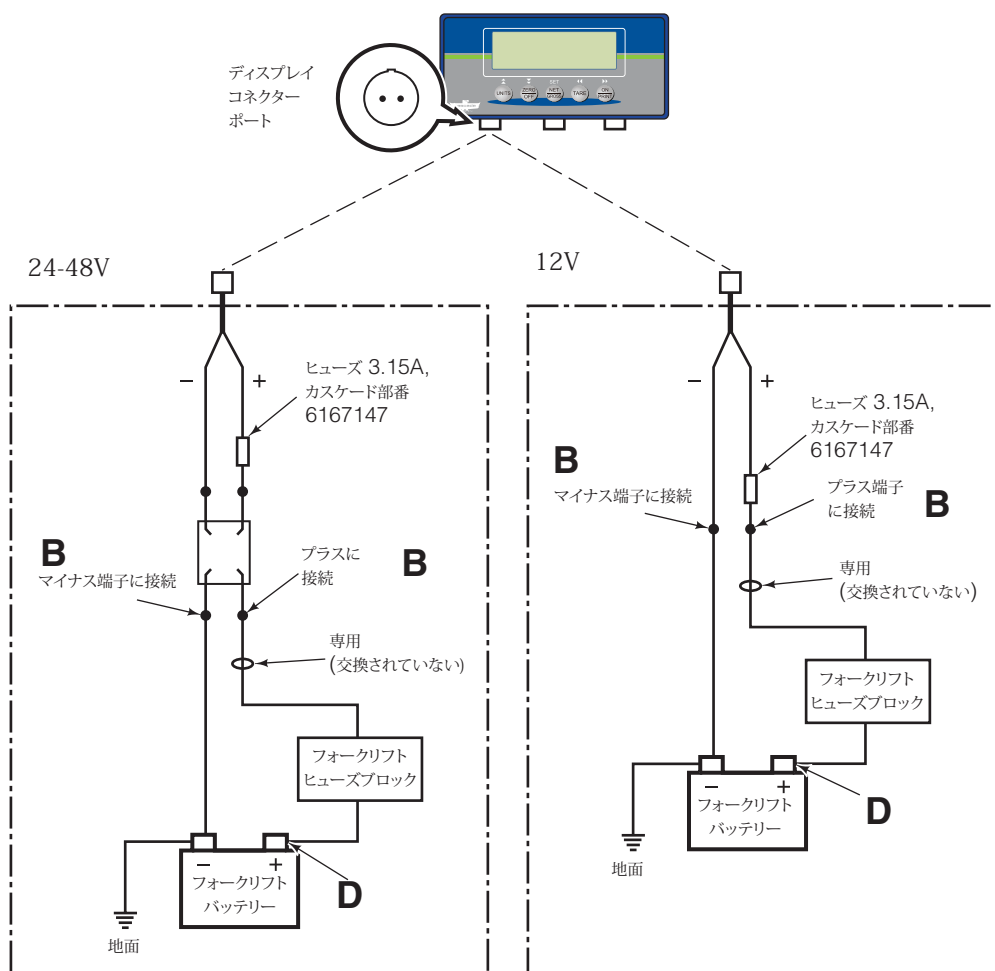
B 図のように接続する。

12V の場合 – ヒューズのついたプラス端子ワイヤーをフォークリフトのヒューズブロックに接続する。アース線をつなぐ。

24V-48V の場合 – リフトに電圧コンバーターを取付ける。コンバーターのヒューズのついたプラス端子ワイヤーをフォークリフトのヒューズブロックに接続する。アース線をつなぐ。ケーブル配線がはさまってないか確認する。必要ならば結束バンドを使用する。

C 電源ケーブルをディスプレイに接続する。

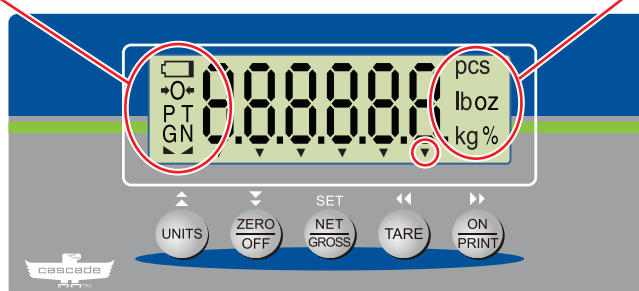
D それぞれバッテリーケーブルを適切なターミナルに接続する。



FK0548.eps

機能

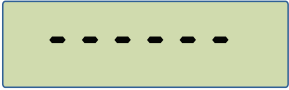
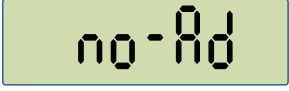
ディスプレイ左側	ディスプレイ右側
下のマークが表示された時は	下のマークが表示されたときは
低バッテリー (ディスプレイとフォークバッテリー)	pcs 個数計測時の数量を表示
表示計測重量が真のゼロ状態	lb ポンド単位での重量表示
P ディスプレイがピークホールドモードの状態	oz オンス単位での重量表示
T 風袋重量を表示	kg キロ単位での重量表示
G グロス重量を表示	g グラム単位での重量表示
N ネット重量を表示	% パーセンテージの数値表示
計測値が安定した状態	ロードセルの位置またはフォークの表示



ディスプレイの ボタン	計量モード ボタン機能	設定モード ボタン機能
UNITS	UNITS 重量表示単位の変更	パラメーター設定メニューに戻るまたは設定モードを終了 または 点滅している桁の数値を上げる
ZERO OFF	ZERO – 手動で表示値をゼロにする (状態を反映させる) OFF – ボタンを 5 秒長押ししてディスプレイの電源をオフにする	パラメーターまたはパラメーターセッティング時使用 または 点滅している桁の数値を下げる
SET NET GROSS	NET GROSS グロス重量とネット重量表示を変更 11ページを参照	SET 数値を選択 または 数値を保存
TARE	TARE 風袋重量を設定 (状態を反映させる)し、現在の風袋重量をクリアする	次のメニュー/パラメーター/設定を表示 または 次の左側の桁へ移動する
ON PRINT	ON – ボタンを2秒長押ししてディスプレイの電源をオンにする PRINT – プリント重量情報 (状態を反映させる)	1つ前のメニュー/パラメーター/設定を表示 または 次の右側の桁へ移動する

FK0539.eps

ディスプレイのメッセージ

エラーメッセージ	エラーの内容	対処方法
	計量荷重オーバー	荷を下ろした後自動復帰
	スケールの重量が負となっている、またはロードセルの信号が負となっている。	ZERO/OFF キーを押しフォークを地面から上げる。
	フォーク 1 に問題があり、通信ができていない。	フォーク 1 の電源がオンになっているか確認。 ディスプレイを再起動。 フォークとディスプレイを再起動。
	フォーク 2 に問題があり、通信ができていない。	フォーク 2 の電源がオンになっているか確認。 ディスプレイを再起動。 フォークとディスプレイを再起動。
	フォークとの通信がない。	フォークの電源がオンになっているか確認。 ディスプレイを再起動。 フォークとディスプレイを再起動。

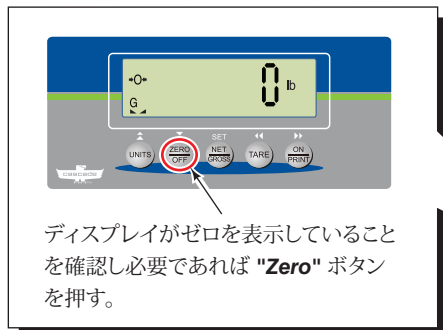
FK0549.eps

USING THE WEIGH SYSTEM

記:フォークは出荷前にキャリブレートされており直ぐに使用可能の状態になっております。

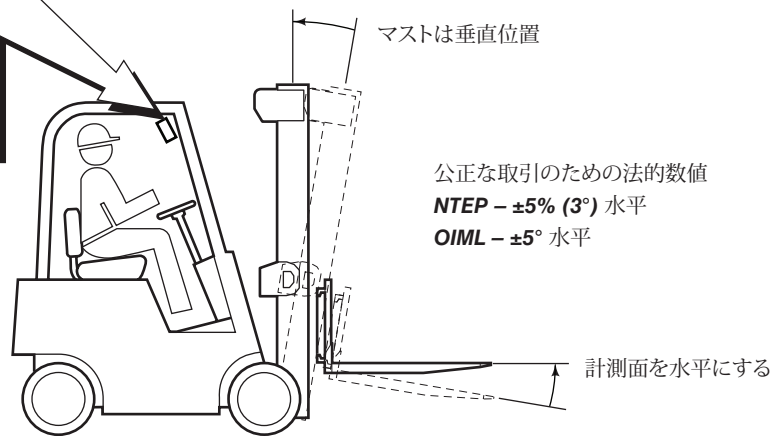
NTEP モデルもキャリブレートされており直ぐに使用可能ですが現地での計測と計測機関による追加の認証が必要になることがあります。

重量計測の前に



最適な使用温度範囲:
-10° C 最低
40° C 最高

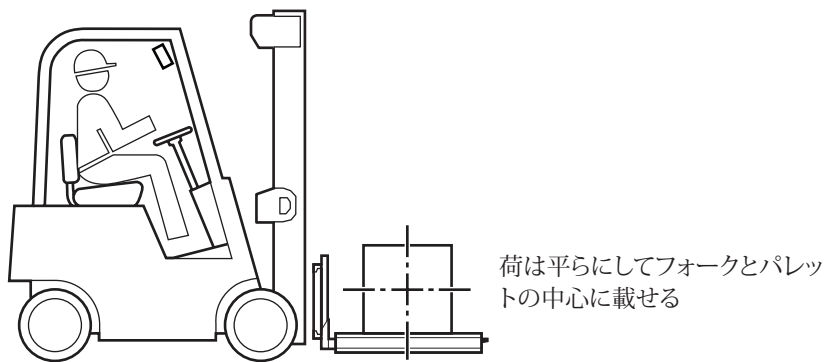
ゼロ設定を行う前にフォークが障害物にあたっていないフリーな状態であることを確認する



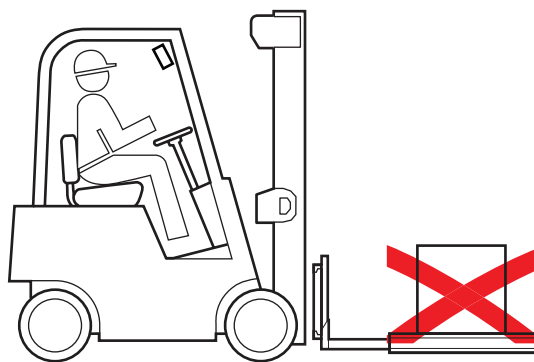
FK0550.eps

荷物のハンドリング

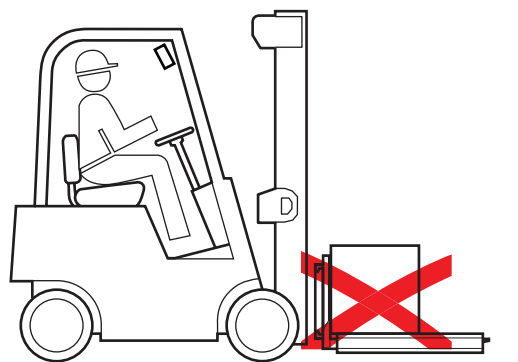
重要: ローテーターアタッチメントによる荷物のハンドリングの場合はローテーターアタッチメントのオペレーターガイドを参照してください



FK0044.eps



FK0045.eps



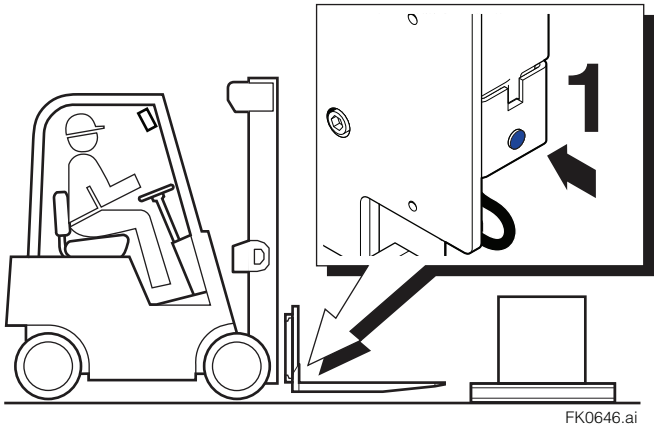
FK0046.eps

荷物の重量測定 (ノーマル計量モード)

重要:

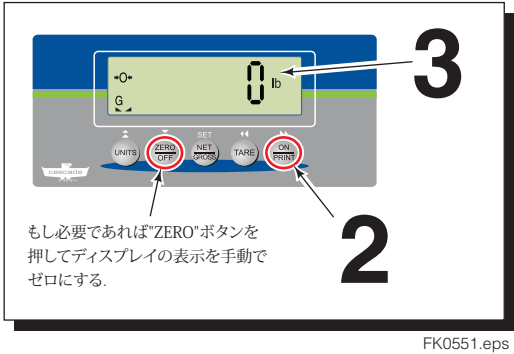
- 初期の毎日の作業開始時、荷物を計量する前にシステムが使用可能状態になるまで3-5分必要になります。
- フォークの前面または下面が荷物またはパレットに接触している場合、システムは計量を行うことができません。
- フォークとフォークシューの間に木片などが挟まっていると安定した重量の読みができないことがあります。
- 液体計量の場合、安定した重量を表示するのに通常より時間がかかります。
- 荷物の長さはフォークの長さより152mmを超えてはなりません。

1 フォークのそれぞれのバッテリーホルダー(それぞれのバッテリーバックにある)青いボタンを押してフォークの電源を入れる。



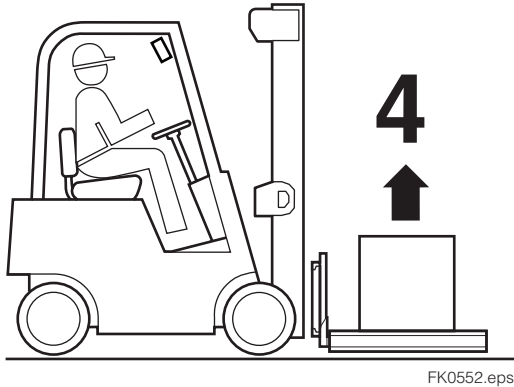
2 ディスプレイの "ON/PRINT" ボタンを押して5秒待つ。

3 もし必要であれば "ZERO/OFF" ボタンを押して表示値をゼロにする。



4 荷物をフォークに載せフォークを上げる。

5 ディスプレイは荷物の重量を表示する。少し時間が経過すると安定した重量を表示する。次の計量の前にディスプレイがゼロであることを確認する。

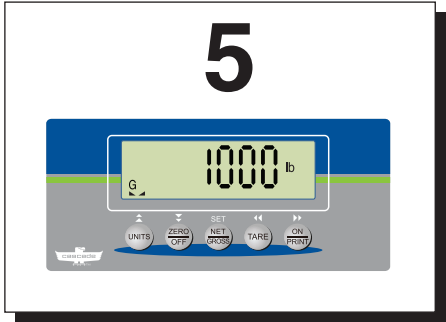


重要: ディスプレイは下記のレンジで表示される。

フォーク容量	重量表示レンジ (増分)
2268 kg – NTEP	■
2268 kg – Non-NTEP	1 kg
2722 kg – Non-NTEP	1 kg
4536 kg – Non-NTEP レンジ: 0-543.6 kg レンジ: 453.6 -4536 kg	1 kg 2 kg

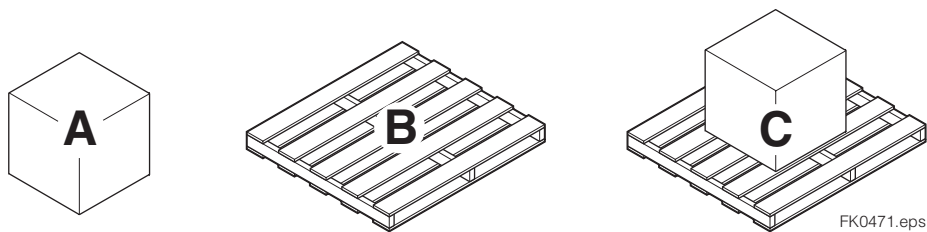
例 : 2268 kg フォーク容量に 35.5 kgの荷物の場合、ディスプレイは 36 kg (Non-NTEP)を表示。

■ カスケードにお問合せください。



USING THE WEIGH SYSTEM

重量計測 ネット/風袋/グロス



ネット (A) + 風袋 (B) = グロス (C)

ネット – 計測したい荷物の重量

風袋 – 測定に含めない無負荷時の重量 (パレット, ビン等).

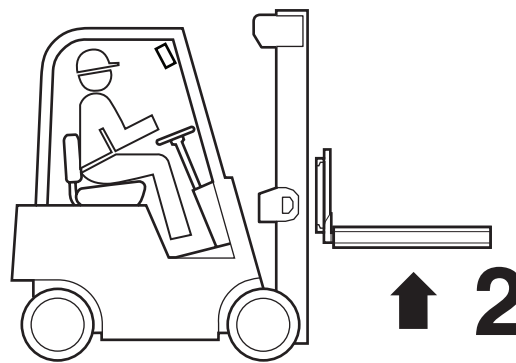
グロス – 荷物の重量と風袋重量を合計した重量

パレットに載っている等、荷物の一部(風袋重量)を除いて荷物の重量(ネット重量)を計測する場合は下記の方法で計量する。

記：この方法を行う場合はディスプレイはノーマル計量モードでなくてはなりません。

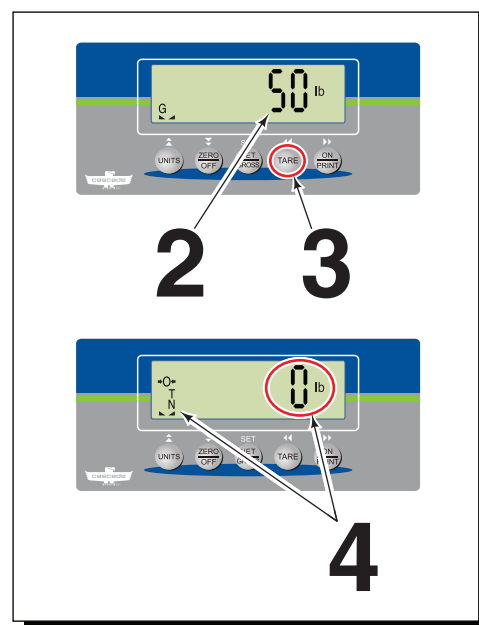
1 必要に応じて、ディスプレイ表示をゼロにする。

2 パレットまたはビン(風袋重量)をフォークに載せフォークを持ち上げる。ディスプレイにパレットまたはビンの重量が表示される。



3 "TARE" ボタンを押す。

4 ディスプレイはゼロにセットされ N が表示される。ネット重量のみを表示する N がディスプレイに表示される。

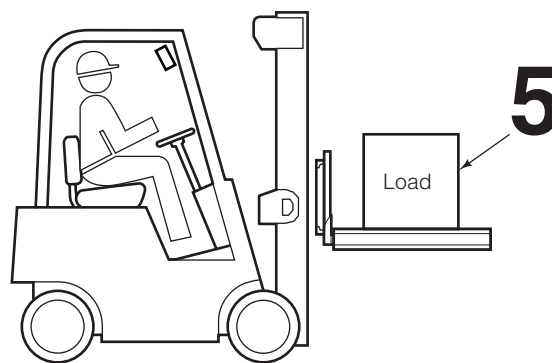


次のページに続く

USING THE WEIGH SYSTEM

重量計測 ネット/風袋/グロス 重量 (続き)

- 5 重量測定する荷物をフォークの上に加える。



FK0554.eps

- 6 ディスプレイはネット重量を表示する。(荷物の重量のみ)。



"N" が消え "G" が表示
される

グロス重量

- 7 グロス重量 (風袋重量 + ネット重量)を確認するには, "NET/
GROSS" ボタンを押す。



- 8 現在の風袋重量数値をクリアするには "TARE" ボタンを押す。
ディスプレイはグロス計量モードに戻る。



"T" が消える